

労働者諸君に告ぐ

労働組合總聯合大會に就て

労働者諸君が誠心誠意を以て、眞實の、止むに止まれぬ向上の

精神を以て、各自の生活を豊富なものにせんがために、少くとも

さうした内容を有する健實無双な労働組合運動を促進せんがため

に、全國的労働組合總聯合の實現を計る事は、日本國民の全部が無上

の祝福を感じずにはゐられないところである。

此の大正十一年九月三十日の労働組合總聯合大會は、日本の社

會全般に亘つて、又は労働者諸君に亘つて、少くとも肅正會に亘

つて、日本の労働組合運動が、現在如何なる状態にあるかを著取

すべき好箇の機會である。

此際吾等は肅正會の本分を實現するために、眞實嚴正なる立勢

から、この労働組合總聯合大會の經過に注目するものである。而

して言ふまでもなく、六十有餘の労働組合の中、不純なる意志表

示を敢て成すものあらば、すなはち、不誠意なる言動に出づるも

のあらば、これは健全なる日本の労働組合運動を阻害するものご認

め、容赦なくその軀体若くは撲滅の手段を執行する。

誤れる労働組合の幹部一人の存在は、それに関する多數労働者

諸君を誤らしむるものであつて、寸刻も社會に存在の意義なく、

當然に死滅の歩道を行くべきものである。すなはち、これは頑迷な

る資本家と同様、否、より以上の禍根でなければならぬ。

肅正會は、現在關西に於ける労働組合の主なるもの、而し會、

日本労働組合總同盟、大阪鐵工組合の各幹部に會見を遂げ、人体に於

て我等の態度は決定されてゐるが、更に、此の労働組合總聯合大

會の結果によつて確定するのである。

終に、我等が凡ての労働者諸君に望むところは、今少く労働

運動を深刻に省慮せなければならぬ事だ。又、労働運動を眞實

に進めて行くためには、現在の如く、何さなく社會に誤解される

やうな行方ではよくない、労働者諸君は、労働者自身に囚れてゐ

る偏狹なところがありはしないか。更に又、各労働組合が意見の

不一致を見るさいよは、何處かに不純な点がなくはならぬ

さいふ事である。

大正十一年九月三十日

肅正會

我現代の社會は、各方面に於ける國民生活の不安とそれが革新運動の渦巻によつ

て、極度な焦燥による果しなき波瀾を反覆しつつある。その運動の多くは、暴漢か、

でなければ實力なき所謂社會運動者輩によつてなされつつあるものであつて、輕々な

るものである。

此の故、我等は決然奮起して、我革新運動の歸するところを明にし、我國體の精華

を發揮せんことを期する。すなはち、各方面に於ける革新運動の波瀾に對しては、嚴

正なる批判と之が及ぶ止なる更張の進路とを與へ、更に、頑迷若くは浮薄なるものに對

しては、之が徹底撲滅の手段を執行し片時もその存在を許さず、又、我等と其の然を

一にするものに對しては總てその更張を擁護し、彼が頭正の實を擧げ、益々我國體の

發展を期するものである。

網領

一、本會は日本建國の精神に基き國體の精華を中外に發揮するを以て目的とする

一、目的を達する爲め左の二部に大別して活動する

宣傳部 研究部

宣傳部は、新聞又は雜誌を發行し及講演會、演說會、其の他機宜の措置を以て本會の

趣旨を一般社會に普及實現せしむる事に務む

研究部は、本會の目的達成上諸般の事項を調査攻撃する

我等と活動を共にせしむる事

人も又、先づ直接我等に會つて

見せしめる人も、遠慮なく下附

へ申込またい。

大正市南區四ツ橋ビルディング二三號室
肅正會
電話 二八四三 三七八四